

秦野曾屋高等学校（授業力向上推進重点校）

授業研究のテーマ

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ～学習した内容を活用する場面設定～

令和4年度～令和6年度までの計画

- ◆ 令和4年度 「対話的な学び」の実現にフォーカスを当てる。
- ◆ 令和5年度 「主体的な学び」の実現にフォーカスを当てる。
- ◆ 令和6年度 「深い学び」の実現にフォーカスを当てる。

令和4年度の実績 令和4年11月18日（金）5時間目に研究授業を実施。

- ◆ 1年生の全クラスの授業を公開。

1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
言語文化	歴史総合	数学Ⅰ	化学基礎	保健	音楽Ⅰ	英語ⅡⅠ

- ◆ 6時間目は教科ごとに分科会。それぞれの分科会には指導主事1名がつく。授業の振り返りのほか、新しい観点にもとづいた評価方法について質疑応答。

公開研究授業の様子



言語文化 「伊勢物語」の単元

生徒は作品に登場する「男」の心情を解釈して、他の人に伝える。読み取りにくい心情を言語化して説明するといった対話的な活動。

歴史総合 日本の西洋化（明治時代）の単元

生徒は当時の日本人のものの見方がどう変化したかを資料から読み解く。それをグループで共有し、それぞれのグループが話し合った内容をモニターを使って発表。



数学Ⅰ 三角比の単元

生徒はグループ内で相談し、三角比を使って、先生の身長を算出。



化学基礎 化学結合の単元

結晶の種類を模擬実験を通してつきとめていく活動。複雑な活動なので、班内の連携が必要。

公開研究授業の後に行った「教科別分科会」の協議内容の一部

言語文化	<p>振り返りの活動について</p> <p>振り返りの目的は、生徒が何を得たかを整理・自覚し次の学習に生かすこと。質問内容は具体的に指示し、振り返りのタイミングを計画的にとることで生徒本人の変化を表出させるよう工夫を。</p>
歴史総合	<p>授業で提示する課題の設定について</p> <p>現在身の回りにある問題などについて、それが近現代史の中で、どのように生じたかを見つけていくような課題を設定するとよい。</p>
数学Ⅰ	<p>数学的なものの見方について</p> <p>グループによって、計算の結果が異なることがあった。なぜ違う答えになったかを分析させると数学的なものの見方が身に付いていく。</p>
化学基礎	<p>教科や科目横断的な取組みについて</p> <p>理科には、SDGs、温暖化問題など化学、地学、生物や物理といった横断的な視野が求められる。また、そういったことは身近な事象の理解にもつながり、主体的な学びのきっかけとなる。</p>
保健	<p>組織的に授業を改善していくことについて</p> <p>授業のねらい、具体的な活動、よりよい授業にするために、教科内でよく話し合われている。個人でなくチームで授業改善に取り組んでいるのがよい。</p>
音楽Ⅰ	<p>創作活動について</p> <p>創作の際、個人の経験に依るだけでなく、創作の「材料」を授業で十分に与え、そこで得たものから考えを深め視野を広げられるようにするとよい。</p>
英語ⅡⅠⅠ	<p>ディベートやディスカッションについて</p> <p>ディベートやディスカッションを実施する際、形式にこだわる必要はない。「①意見を言う、②相手に振る、③相手の意見を理解する」といったプロセスができていることが肝要。</p>

令和4年度にそれぞれの教科が実施した内容

国語	<p>《他者と協働して練り直す》</p> <p>小説教材における答えのない問いに対して、自分なりの考えや根拠をもって自分なりの解答を作成する。自分が作成した意見をもって他者と交流し、自分自身の答えを練り直す。</p>
地理歴史	<p>《Google Forms を活用した自己評価》</p> <p>Google Forms を活用し、各自が作成したレポートを自己評価し、その後のグループ内での発表を踏まえて、再度 Google Forms で自己評価をする。</p>
数学	<p>《三角比を使っていろいろなものを測量してみる》</p> <p>グループで協働しながら、三角比を活用して物体との距離などを測量する。</p>
理科	<p>《実験を計画し結果を推定する》</p> <p>既習事項を活用して、他者と協働しながら結論を導き出す実験を計画し、結論を推定する。</p>
保健体育	<p>《ICT を活用して自分の動きを振り返る》</p> <p>iPad などを利用して、二人一組でお互いの動作などを撮影し、動きの技術ポイントや課題を確認する。</p>
芸術	<p>《コンセプトが他者にどう見えるか》</p> <p>自身が設定したコンセプトをもとに毛筆で創作を行い、他者との対話の中で作品から作者の意図が見えてくるのかを検討する。</p>
英語	<p>《4コマに分割された絵からストーリーを作成》</p> <p>教室の四隅にそれぞれ置かれた4コマ漫画の一部から、グループの各員が情報を収集し、グループでそれぞれの情報を持ち寄り、全体のストーリーを構成する。</p>
家庭	<p>《ホームプロジェクトの実施》</p> <p>自分自身の家庭生活の課題を見出し、解決のための手立てを考えて実施する。この一連の作業をスライドやレポートにまとめて、他者と共有し次の課題解決につなげる。</p>

令和4年度生徒対象アンケート結果

単元の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり解決方法について考える場面がある。（「生徒による授業評価」）

かなりあてはまる	51.8%
ほぼあてはまる	42.5%
あまりあてはまらない	5.1%
ほとんどあてはまらない	0.6%

授業で得た知識をもとに自分の考えをまとめたり課題の解決方法を考えたりすることができた。（「生徒による授業評価」）

かなりあてはまる	48.6%
ほぼあてはまる	45.0%
あまりあてはまらない	6.0%
ほとんどあてはまらない	0.4%

主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力等を高めることができたと思う
（「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」）

そう思う	40.2%
どちらかといえばそう思う	48.5%
どちらかといえば満足していない	8.3%
ほとんどあてはまらない	3.0%